

2026 年 4 月 26 日作成 Ver.1.0

《情報公開文書》

変性後尖病変による僧帽弁閉鎖不全症に対する僧帽弁形成術：
弁尖切除単独と弁尖切除に人工腱索再建を伴うものの治療成績の比較研究

研究の概要

【背景】

僧帽弁形成術(MP)は僧帽弁閉鎖不全症(MR)に対する治療法として確立された術式ですが、その形成方法は時代とともに少しずつ変遷しています。長崎大学病院では長年に渡り MR に対する治療戦略として積極的に MP を施行しており、逆流制御の確実性と効果の長期持続性の向上に取り組んでいます。従来、僧帽弁後尖病変に対しては、弁尖変性部位の弁尖切除のみで行う手術法(Conventional 法)を行っていましたが、弁尖切除のみでは弁尖の形態矯正が出来ていても弁尖の接合部の長さが短いために、逆流が残ってしまったり将来的な逆流再発を来してしまったりすることもあるため、現在は接合部の長さを適正化するために病変の大きさに従って弁尖切除を行い、人工腱索再建を行う手術法(Restoration 法)を施行しています。今回、両群間の治療成績を比較し、Restoration 法の有益性を検証することとしました。

【目的】

本研究の目的は Restoration 法による MP の逆流制御の確実性と効果の長期持続性を明らかにする事です。

【意義】

有用性が明らかとなれば、MP における形成手技の標準的術式としての提言が期待されます。

【方法】

対象となる患者さんの術前と術後の経胸壁心エコー図検査で MR が制御できているかを主に調査します。

対象となる患者さん

1999 年 6 月 1 日から 2022 年 3 月 31 日の間に変性後尖病変一次性 MR に対して弁尖切除を伴う MP を施行した患者さんが対象です。

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

・患者背景：患者識別番号(Study ID)、性別、年齢、手術日、身長、体重、BMI、BSA、主病

名、既往歴(高血圧症、脂質異常症、糖尿病、狭心症、心筋梗塞、過去の心臓手術歴、脳血管障害(脳梗塞、TIA、頭蓋内出血)、脳・心以外の梗塞/塞栓症、腎機能障害、末梢血管病変、その他)、術前 NYHA 分類(I、II、III、IV)、心房細動の有無、房室ブロックの有無、ペースメーカーの有無、感染性心内膜炎の有無、手術の緊急度 - 心エコー図検査：LVDd/Ds、LVEF、MR 程度、左房径、推定収縮期肺動脈圧、逸脱弁尖の有無と場所、三尖弁逆流程度 - 手術詳細：手術時間、体外循環時間(人工心肺時間、大動脈遮断時間)、手術術式など - 術後経過 本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。	
情報の利用開始予定日	
本研究は 2026 年 7 月 8 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。 あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。 ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。 あらかじめご了承ください。	
研究実施期間	
研究機関長の許可日～2026 年 12 月 31 日	
研究実施体制	
研究責任者	所属：長崎大学病院 心臓血管外科 氏名：三浦 崇 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095 (819) 7307
情報の管理責任者	長崎大学病院 病院長
問い合わせ先	
【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】 長崎大学病院 心臓血管外科 三浦 崇 〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095 (819) 7307 FAX 095 (819) 7311	

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室 095（819）7200

受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）